

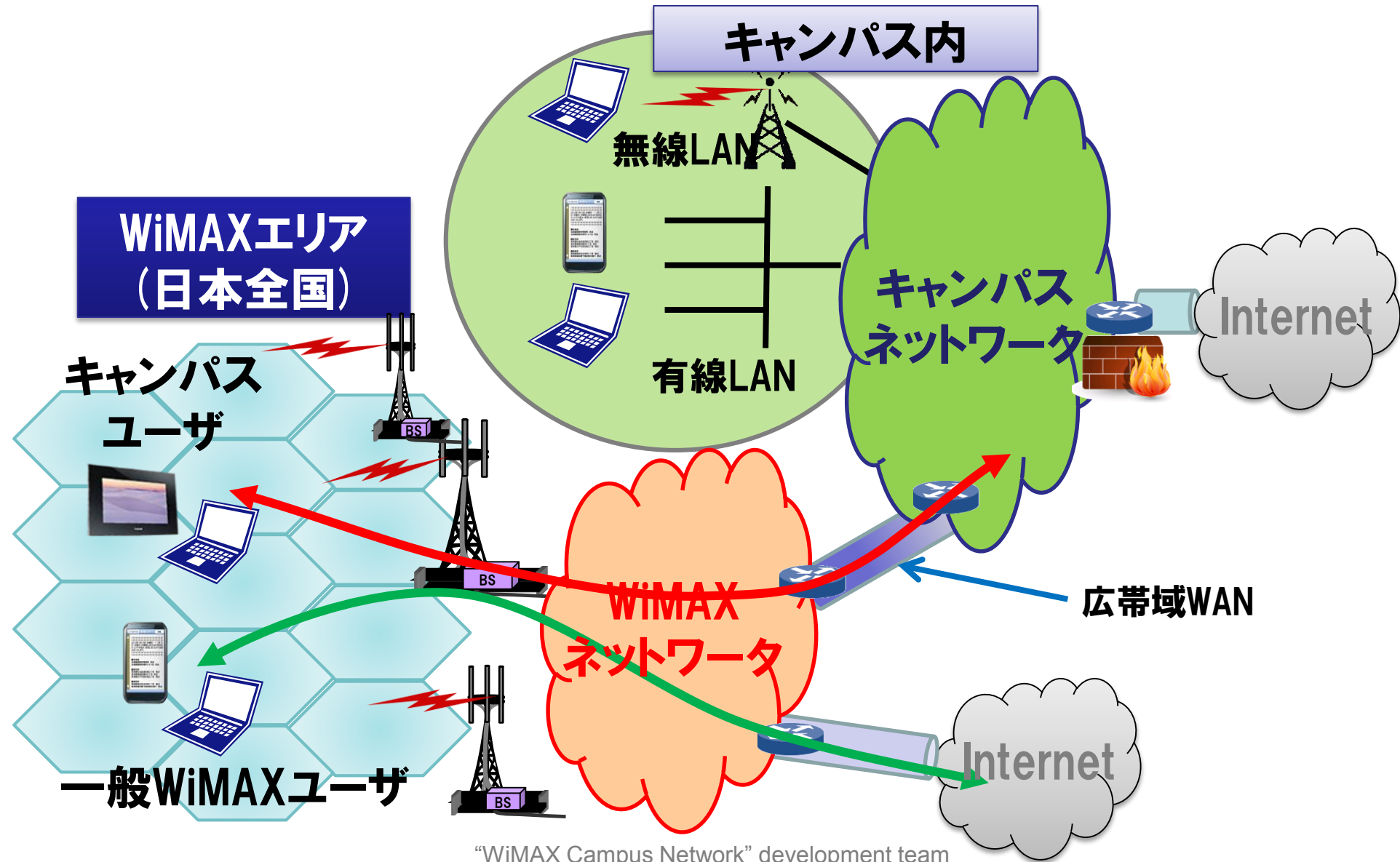
モバイル WiMAX と学認で 安全・安心に広がるキャンパス ネットワーク

岡村耕二

九州大学 情報基盤研究開発センター

「WiMAXキャンパスネットワーク」構想

全国のWiMAX基地局をキャンパスネットの一部に



サービス高度化・ユーザ支援

利用者拡大に向けた、MVNO連携・サービス多様化

UQコミュニケーションズ社は月額支払のサービスを提供

・教職員利用では継続契約が困難なケースも少なくない



- ・WiMAXの移動体通信事業者(MNO)であるUQ社と仮想移動体通信事業者(MVNO)のDIS社が連携
- ・教職員に利用者の多い、「WiMAX年間パック」でも、接続料金の支払を可能に。大学内の生協でも購入可能。

経緯・準備

- 2011年3月 KDDI の方と雑談
- 2011年6月 UQ WiMAX と打ち合わせ
- 2012年3月 具体的な話が始まる（4月から京大サービス開始）
- 2012年7月 九大側の作業開始
 - SINET申請
 - 学認準備
 - IP アドレス情報
 - 接続テスト
 - 利用者情報管理方法の確認など
- 2012年10月 九大向けサービス始まる

構想実現に向けての取り組み

教育研究活動に貢献できるプラットフォームとして育てる

慶応義塾大学湘南藤沢キャンパス(SFC)

WiMAX キャンパスネットワーク
モデル構想・設計



2010/11
Open Research Forum

京都大学情報環境機構 / 国立情報学研究所(NII)

広域展開に向けた学術リソース
(SINET4/GakuNin)との連携基盤構築



各大学において導入
検討過程のアイディアを
取込んでステップアップ

九州大学情報基盤研究開発センター

MVNO活用によるサービス高度化・
ユーザ支援、インフラ活用モデル具現化

プラットフォーム化
様々な教育・研究機関で活用へ

利用者情報管理

- UQ: エンコードした利用者リスト (ePTID)
- エンコードした利用者リストでマッチングさせ、利用者を特定

- 利用資格
- インシデント対応

おわりに

- 学内における認知度
- WiMAX の速度 (その後のLTEの出現など)